



園だより

令和3年11月発行
幼保連携型認定こども園

合志こども園 園長 松岡 貴子

子どもの不思議にどう向き合っていますか

園庭や公園の木々が色づき、秋の深まりを感じます。【見て】変化に気づいたり、香りを【嗅いで】楽しんだり、木の実を集めて【触れて】楽しむ等、いろいろな体験ができる秋です。「秋になれば、木々は色づいていくもの」と自然と受け入れています。子ども達は「なぜ色が変わるのか」「どうして色々な色になるのか」と疑問に感じ質問してきます。さて、どう答えたらいいのでしょうか。

先日情報番組で、『図鑑を好んで読む（見る）子どもが多い』とあっていました。こども園の子ども達もよく、恐竜や虫・乗り物の図鑑を開いてみえています。同じ本を何度も開き、お気に入りのページを繰り返し見えています。携帯が身近にあることで、わからなければすぐ検索して答えを得ることが当たり前になっていますが、自分で調べたことは、ずっと後まで忘れないと聞きます。手軽に情報を得る事も時と場合によって必要ですが、子ども達のおもしろい疑問やなぜに対しては、「どうしてかな？一緒に調べてみよう」と関わることが、これから先の学習にも関係してきます。答えを教えるのではなく、考え方や見つけ方・方法を一緒に探し答えを見つけていけるように関わってまいりましょう。

自分で調べることができた自信は、

【自己肯定感・自己効力感】となり、

更なる**【探求心】**を育てます。



新型コロナ感染対策に一人一人が取り組んできた結果、連日感染者0名の情報が聞かれ、安堵し園生活や活動に関しても、少しずつ取り組みを増やすことができています。年中、長の鍵盤ハーモニカの取り組みや発声・季節の歌、これまで当たり前のように活動してきたことを自粛することは、子ども達の経験値を少なくすることにつながっていました。しかし、この状況の中、どのような方法ができるかを各クラス考え、やりにくい中でも頑張ってきました。鍵盤ハーモニカでは、『運指』を重視し音を出せない中（吹くことで感染リスクが上がるという指導有）コツコツ取り組んできました。先日年中組から、久しぶりに鍵盤ハーモニカの音が聞こえてきました。みんなで音を合わせることができ、子ども達も嬉しそうに演奏し、自粛期間中一つ一つ丁寧に指使いを行ってきた成果が発揮できていました。これまでできなかった分、楽しく取り組んでほしいと思います。（家庭での練習協力、感謝致します）

しかし、数日前に「世界13か国（11/29現在）で変異株（オミクロン）が拡大している」と報道が流れました。第6波を迎えないように状況が落ち着いている『今』私たちのやるべきこと・基本的な対策・気を抜かない行動が大切だと思います。恐れるのではなく、寄せ付けない行動をとってまいりましょう。「コロナなんかには負けない！！」を合言葉に園生活送っていきます。



子ども達の笑顔を守っていきましょう！！

○行事予定 コロナ感染レベル・感染拡大防止による変更の可能性があります

<12月>

<1月>

2日	Eday (4・5歳) プログラミング活動	3日	年末年始休業 12/29~1/3
4日	個人面談(全園児) 土曜保育なし	4日	年始登園開始
6日	Sday (体操服登園) いちごくらぶ	7日	3学期始業式
8日	誕生会	8日	学園合同職員会議(午前中)
9日	Eday (3・2歳)	10日	祝日:成人の日
13日	Sday (体操服登園)	12日	いちごくらぶ
16日	Eday (4・5歳) プログラミング活動	13日	Eday (4・5歳) プログラミング活動
17日	ロアッソサッカー教室(体操服登園) ドンちゃん号	14日	ロアッソサッカー教室
20日	Sday (体操服登園) いちごくらぶ	17日	Sday (体操服登園)
21日	クリスマス会	19日	誕生会
22日	避難訓練	20日	Eday (3・2歳)
23日	Eday (3・4・5歳)	24日	Sday (体操服登園)
24日	もちつき(園児のみ) 2学期終業式	25日	いちごくらぶ
25日	冬休み ~1/6	26日	伝承遊び会(園児のみ)
28日	年末最終日	27日	Eday (4・5歳) プログラミング活動
29日	年末年始休業 ~1/3	31日	Sday (体操服登園)

※1月から毎月行う「避難訓練」については周知なし(非常事態に対応する力を育むため)で行います。

※1月以降、保護者参加予定行事についてお知らせしますので、参加調整をお願いいたします。

『誕生会』 1/19 ・2/1 ・3/1 (該当保護者参加)

『発表会』 2/19 詳細は後日お知らせ

『お別れ遠足』 2/26 親子遠足で検討中

『卒園式』 3/19 年長児のみ

『重要事項説明会』『保護者会総会』 3/26 実施予定



なりきり先生、二人組



カート大好き



お兄さんぶりを発揮